

# 風の流

◆一般投稿作品◆

広報委員会 選

著我咲いて佛遠き人となる  
虫よけのバジル草にも虫がつく  
草刈りてちちぐさの葉の伸びる時  
水張田満月映し夜の明ける  
万緑に山家おぼれておりにけり  
子育てに休む間もなしぬれつばめ  
ふうわりと迷ひ蛩や軒の先  
透析や青葉木菟にも身震いす  
幻想のホタルの光手にひとつ  
脳トレのジャンケンすれば蟬が鳴く  
草茂る空屋に転ぶ三輪車  
日輪を追ふ向日葵の蕾かな  
派手好きの卒寿の彼にベスト編む  
夏の雨祖母の命日暮れゆける  
梅雨長し徒然の今日讀書して

◆美良布俳句会◆

梅雨晴間歩く日課の顔揃ひ  
山雀とあそぶ少女の目見涼し  
紫陽花の終りし無名の句碑さびし  
アジサイの呼びきし雨の激しさよ  
明日のこと憂いながら枇杷を摘む  
隣家より聞こゆ槌音梅雨の朝  
動きいる小枝尺蠖測りいる

週刊誌まるむを待たず御器囃よ

◆かがみ野俳句会◆

散歩圏少し伸ばして青野原  
思い出の句集を開く梅雨籠り  
向日葵や一本立ちて雄々と  
星映す棚田は明日の田植待つ  
あぢさゐや漁具干す路地の薄明り  
緑風や磐座祓ふ禰宜の袖

◆かほく俳句会◆

川の子となりて涼しき兄妹  
人生は紫陽花のごと変わりゆく  
唐紙に緩みの見えて梅雨に入る  
病葉や昨日の色と今日の色  
袋かけ海風の出し十一時  
日日違ふ老いの体調梅雨長し  
伝来の鎌研ぐ池や月見草  
風鈴の音はそれぞれに風一つ  
路地裏の猫の抜け道花ぎぼし  
花茨少し水面に触れにけり  
火を焚きて梅雨晴の空焦しけり  
万緑の奥山深き水の音  
万緑に沈みてかほく句碑の里  
梅雨入りと云ふは他国か十勝晴れ  
老鶯を真近に齡重ねけり  
廃屋をがんじがらめに蔦茂る  
庭で振る夕餉や水恋鳥の声  
病葉と云ふ紅の蔦ひと葉  
代掻くや道路に落とす泥あまた  
山頂の風車を回す青嵐  
二十余年変らぬ便り新茶愛く

竹内 ろ草

古川 信子  
利根 弘子  
森本 健代  
山崎 鈴子  
中澤 美晴  
佐竹 洋子

乾 真紀子  
奥宮かなえ  
奥宮さとみ  
堅山 高子  
久保内鏡子  
黒岩千英子  
小松 隆之  
小松 昇  
杉山 春萌  
野村 里史  
前田 欣一  
前田 智  
間崎 和代  
宮崎ただし  
宗石 愛喜  
森本 之子  
山崎かずみ  
山中 晶子  
山中 瑞輝  
山中 花野  
山中 明石

◆土佐山田町俳句会◆

初鯉郷に嫁ぎし子に持たす  
どくだみと言う名の花の美しき  
学童のかるき足取り更衣  
漱石の「こころ」一冊夏座敷  
猫車どくだみ零しこぼしゆく  
玄界の花いたどりの島昏れる  
おぼろ夜の一番風呂は仕舞ふる  
「ふるさと市」青葉の風も売っており  
ふるさととは海なきところ雨蛙  
鮎の香を手に踊らせて解禁日  
空箱の少し気怠く戻り梅雨  
紫陽花の変化うながし水流る

## 今月のキラリ

脳トレのジャンケンすれば蟬が鳴く  
最近が高齢者が集まってゲーム感覚で脳トレを行う。簡単なはずが、動作が追いつかず笑いが起きる。「ジャンケンすれば蟬が鳴く」この軽快な雰囲気もまた脳トレの効果である。

## 俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。住所、氏名、電話番号を明記してください。  
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。  
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係  
〒782-18501（住所記載不要）FAX 53・5958

## 吉井勇記念館だより

### 吉井勇顕彰短歌大会作品募集

#### ■作品募集要項

【作品】一般の部 1人2首まで。学生の部（高校生以下） 1人1首まで。  
自作・未発表のもので主題は自由。応募用紙または原稿用紙に、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・大会当日の出欠・送迎バス利用の有無を明記すること。  
【出詠料】2首で千円（1首でも千円）。学生の部（高校生以下）無料。定額小為替または現金書留で、投稿時に納めてください。  
【応募締切】12月16日（金）※当日消印有効  
吉井勇顕彰短歌大会歌会係  
〒781-4247  
香美市香北町猪野々514

記念講演 吉井勇と猪野々々 今戸益喜宛て書簡をもとに

【日時】8月27日（土）13時30分  
【講師】細川光洋さん（静岡県立大学教授）  
【場所】猪野々集会所（吉井勇記念館隣）  
【送迎バス】※要予約  
香美市役所本庁舎より、Jバス美良布駅経由。行き 12時発 帰り 15時50分発

◆問い合わせ先 吉井勇記念館 ☎58・2220

## 和田通博展

— 水彩画の魅力 —

8月20日（土）～10月16日（日）

休館日／毎週月曜日（祝日の場合、火曜日が休館）



夜明け／2014年

香美市立美術館

## アート之窗



香美市立美術館では、和田通博の水彩画やパステル画の展覧会を行います。和田通博は、昭和25年に高知市春野町に生まれました。県展をはじめ、二科展、一水会展などで活躍し、洋画部門とグラフィックデザイン部門の両方で発表を続けています。

現在、高知県美術家協会理事を務め、高知文化教室をはじめとした多くの教室を開設し、後進の指導に当たっています。水彩画を数多く手がけ、その透明感のある美しさは、他の追随を許さないほどの魅力です。地元春野町はもとより、広く海外にも題材を求めて、個性



雨上がり／2015年

親しみやすい和田通博の作品を通して、絵を見る楽しさと水彩画の奥深い豊かさを、ぜひ味わっていただきたいと思えます。暑い季節、この涼やかな水彩画は、きつと一服の清涼剤となるのではないのでしょうか。（館長・都築房子）